

まちづくり特別委員会（第10回目）の概要

- 1 日 時 平成27年12月4日（金）午前9時00分～12時00分
- 2 場 所 東部長寿支援センター、中部長寿支援センター
西部長寿支援センター
- 3 出 席 全委員
- 4 内 容 長寿支援センターの視察

今年度から市内3箇所に設置された、長寿支援センターの視察を行った。

東部、中部長寿支援センターへはそれぞれ2班に分かれ、西部長寿支援センターへは全委員で視察を実施。

各センターの相談件数等稼働状況や、介護予防に関する取り組みなど、実際に現場で働く職員から、直接市内の高齢者の状況を聞くことができた。

（以下各センターでの調査と回答を抜粋して記載）

■東部長寿支援センター

- ・民生委員との連携について…行方不明高齢者探索模擬訓練や地域ケア会議（個別）に参加など協力していただけている。今後も民生委員定例会議に出席し活動の報告や行事への協力等行っていきたい。
- ・サロンのないところに作ってもらうことはできないか。サロンに参加している人の男女比はどうか…新たにサロンをつくる支援は社協で行っている。サロンから依頼があれば出向いて行く。サロンの参加者は女性が多く男性の参加が少ないところが多い。今後男性の参加が増えると良いと思う。
- ・基本チェックリストは高齢者に不評と聞くが、来年も行うのか…チェックリストは厚生労働省で作成されたものであった。来年度は、市独自の項目や実施する対象年齢を検討する予定である。
- ・行方不明高齢者捜索について…所管地区では行方不明者の数は増加している。法人としても独自に取り組みを行っている。



■中部長寿支援センター

- ・相談内容…介護認定、サービスの利用に関する内容が多い。介護が必要な状態になってからの相談が多く、未然の対応が必要と感じる。また、職員が4名体制のため苦慮している。その他、センターの立地についても分かりにくいとの声をいただいている。

- ・ 中部長寿支援センターの対象地域の特性について…山手地区については、生活圏が太田地区になることも多い。そのため、太田地区のつながりが大きく、民生委員とのやりとりなど、エリアをまたいだ連携が必要と感じている。

山手地区は地付きの人が少なく、所管の他地区と比べ地域との付き合いが希薄であると感じる。またこの地区のサロンも少ない。

北部地区は高齢化率が30%を超えており、災害時などインフラ整備の必要を感じる。

- ・ 健康づくりに男性は関心が低いように考えるが…そういった傾向はある。男性のほうが、老いに対してプライドを持っている傾向が感じられる。所管のエリアにはゴルフ場も多いので、ゴルフを活用して男性が参加しやすい事業が実施できればよいと考える。



■西部長寿支援センター

- ・ 地域ケア会議の実施状況は…個別会議を前期に1回開催。地域の課題解決のための手法のひとつ。今後も実施していく。
- ・ サロンとのかかわりは。健寿会への働きかけは。(高齢者の閉じこもり予防) …センターPR、悪徳商法に関する出前講座などを内容として地区サロンに出かけている。健寿会も出前講座等依頼があれば、長寿福祉係と連携して出かけていく。
- ・ 介護予防の実施状況は。また、男性の事業の参加状況は…長寿福祉係が実施する介護予防事業に協力するかたちでの活動。主に保健師担当。事業参加者にセンターを知ってもらう場にもなる。(脳の健康教室やMCIスクリーニングなど。)前期実施分のMCIスクリーニングでは、要訪問者を24人訪問している。男性の参加は事業にもよるが、教室等の参加者は圧倒的に女性が多い。男性が参加できる教室の開催も今後検討していく。
- ・ 介護予防事業に参加できる交通手段がなく、参加できないことはないか…可能な限り介護予防教室は送迎付きで対応しており、希望があれば送迎に応じている。
- ・ 3箇所センターの連携方法は…定期的な連絡会を実施し、事業等のすり合わせ、事例検討等をしている。また、専門職種別の会議も開催し、情報収集や事業の協働実施等を行っている。認知症啓発映画会の開催や、健康福祉すこやかフェスティバルでは、社会資源マップづくりについて一緒に協力して取り組んでいる。
- ・ 虐待対応状況は…相談対応はしているが、刑事事件や実際保護に至った事案は今のところない。相談の際は、まずは事実確認をすることになる。そして生命にかかわる事態であることが確認されたら保護(分離)となるが、今年そうした対応になった事例はない。
- ・ 東濃後見センターのような、後見センターが今後必要ではないか…高齢者、権利擁護の必要な高齢者の増加もあり、今後の課題。

- ・ 直営と委託のセンターの活動の違いは… 3箇所センターは、同じ業務を実施し、それぞれの担当地区を持ち、同等で、基本的に活動の違いはないと考えている。ただし、西部長寿支援センターはセンター統括部門と同じ場所に事務所があることから、周囲にはそのように映らないこともある可能性はあるとは思っている。委託先のセンターは、情報の共有等、情報について課題を持っておられるかもしれない。聞いていただければ、情報提供できる範囲で可能な限り提供しているつもりである。

- ・ 市から、センターへ器具等の提供はあるか… 介護予防事業等で必要な器具は長寿福祉係から持参している。(体力測定器具等)センター職員の皆さんは主に大切なマンパワーとしての協力となる。

- ・ その他…センターを知っていただくためのPR活動が常に課題。日ごろからセンターの活動に関わっていただけるようになるといいと思っている。

